

器具を設置する際、 一定以上の水圧(流動時)が必要です。

■水圧に関するご注意

流動時の水圧が必要な理由について

水が止まっている状態(静止時)で、水圧を確保できても、お客様が器具を使用すると、水圧が低下します。つまり、その状態で最低水圧を確保しておく必要があります。「お客様ご使用時＝流動時の水圧(右側)」となります。



水圧確認時の注意事項

洗面所や浴室などほかの水栓器具を同時に使用した場合、流動時における水圧が低下します。同時使用時の状態の水圧を確認してください。

このような場合は水圧が低いことがありますので、ご注意ください。

シャワーの出が弱い 2階のトイレ・高台 リフォーム 井戸水

シャワーの出が悪い場合、高い場所は、低い場所、古い配管は、さびなどに、くみ上げるポンプの性能は、家全体の水圧が、比べて水圧は低くなる。よって、水の通り道が狭くなる。能によって、水の出しが低い場合があります。 ります。 り、水出しが悪くなります。 悪い場合があります。

注 ネオレストDタイプの最低必要水圧について

下記水圧条件を満たしているか設置前に必ずご確認ください。この水圧を確保できない場合、汚物を排出できないことがありますのでご注意ください。

最低必要水圧条件 ネオレストDタイプ 0.07MPa(流動時)

- ※最高水圧(静止時)は0.75MPaです。
- ※配管は呼び径13以上をご使用ください。(上記水圧と水量確保のため)
- ※給水延長ユニット(壁排水便器用)をご使用の場合は、最低必要水圧(流動時)0.08MPa(20.0L/分)が必要となります。給水延長ユニットについては、P.50をご参照ください。
- ※洗面所や浴室などほかの水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と水量が必要です。

<確認方法>

① 水圧測定器具による水圧測定方法 HH15003を利用する。(HH15003に止水栓は含まれておりません。)

品番	希望小売価格
水圧測定器具 HH15003	¥5,400

※水圧測定時は必ず器具接続前まで測定ください。



② バケツによる簡易測定方法(水圧測定器具がない場合)

バケツによる確認方法では、必ず下記水量を確保できることをご確認ください。なお、最低必要水圧(流動時) (Dタイプ:0.07MPa)で示す水量と異なる数値のためご注意ください。



次の水量以上あればOKです

止水栓のタイプ	水量(10秒間)
既存のネオレスト止水栓	5.5L以上
ロータンク用止水栓(壁給水)	4.5L以上
ロータンク用止水栓(床給水)	4.0L以上

※給水延長ユニット(壁排水便器用)をご使用の場合は、上記必要水量にプラス0.2L必要となります。

ネオレストハイブリッドシリーズAH・RHタイプ(手洗器付含む)の最低必要水圧について

汚物の排出は製品に内蔵の加圧装置によって行ないますので、水圧の影響はありません。一般のウォシュレットタイプの手洗い便器と同条件です。

※ただし、シャワーの出が極端に弱い場合やタンク式便器の給水時間が極めて遅い場合などは下記最低必要水圧条件をご確認ください。

最低必要水圧条件 ネオレストAH・RHタイプ 0.05MPa(10.0L/分:流動時)

- ・0.05MPa以下の水圧の場合、ウォシュレットの水勢が弱くなります。また、手洗器付では、手洗器の水の出が悪くなる場合があります。
- ・0.03MPa以下の水圧の場合、便器ボウル面の洗浄能力が低下します。

- ※最高水圧(静止時)は0.75MPaです。
- ※配管は呼び径13以上をご使用ください。(上記水圧と水量確保のため)
- ※洗面所や浴室などほかの水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と水量が必要です。

■ネオレストAH・RHの防火区画対応について

■便器を防火区画貫通部より1m以内に設置される場合は、事前に所轄消防署にご確認いただき、その指示に従ってください。防火区画貫通部に対応した部材も準備しております。

ネオレストAH・RH 床排水用

品番	希望小売価格
大便器背面カバー HM969	¥3,800



ネオレストAH・RH 壁排水用

品番	希望小売価格
大便器背面カバー HM969P	¥3,800



商品決定の前に必ずご確認ください。

AH・RHタイプのレストルームドレッサーシステムシリーズ専用品につきましては、専用カタログ(No.2200)をご覧ください。

■商品ご採用の際のご注意

警告

- 浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
 - 給水位置の真下や露出された排水管の真下に電源コンセントを設置したり、ウォシュレット用の給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させないでください。結露水などにより電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。
 - ウォシュレット、電気温水器などを設置される場合は、アース工事(D種接地工事)を行ってください。火災や感電のおそれがあります。
 - 水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しないでください。皮膚の炎症を起こしたり、腐食や異物付着による機器故障の原因となるおそれがあります。ただし、飲用可能な井戸水でも水質により、スケール・緑青発生で修理が必要な故障が起きやすくなります。
 - 車輪・船舶など、移動体への設置はしないでください。火災や感電、故障などのおそれがあります。また、便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。
 - 電源はAC100Vの専用コンセントを使用してください。火災や感電のおそれがあります。
 - 化学療法を受けているかた、免疫不全症のかたなど、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けているかたは、ご使用に際し医師にご相談ください。身体への著しい障がいやまねくおそれがあります。
- <ネオレストAH/RH手洗器付>
- 商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でないことを確認してください。取付物の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
 - 屋外および傾斜のあるような壁面や床面、振動の激しい場所には取り付けしないでください。取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡の原因となります。
 - 取付面がコンクリート下地の場合は、市販のコンクリート用プラグを使用してください。(天然木手すり、インテリア・パー、ハンドグリップは別売りの固定金具をご使用ください)取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡の原因となります。
 - 機器の設置は専門業者が行ってください。また電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行ってください。火災や感電・水漏れのおそれがあります。水漏れにより、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。
 - 壁固定ねじ取付位置には必ず壁裏に所定の補強をしてください。商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。

注意

事前施工について

- トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器とのすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすめできません。
- フローリング(木質系)を使用される場合は、こぼれた小水や結露水などが便器とのすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので便器ハカマ下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーリング材(メジシール)を充て込んでください。
- 節水形便器を使用する場合は、排水管径・管長・勾配などについては、下水道法、所轄官庁の指示に従い、SHASE 206(空気調和・衛生工学会)を参考に適切な処置を講じてください。洗浄不良や詰まりの原因になることがあります。
- Dタイプは換気システムやレンジフードの作動時に、室内と排水管内の圧力差が50Paを超える負圧状態にならないように、十分な給気を確保してください。便器洗浄方式の特性上、便器通路と排水管が瞬間的に連通するため、室内と排水管内の圧力差が50Paを超える場合には、排水管から臭気が上がることが懸念されます。
- 浄化槽を使用する場合、水量・水質の規定があります。建築用途や処理対象人員など個別に検討する必要があります。浄化槽メーカーまたは販売業者にご相談ください。この指示に従ってください。
- 黒っぽい天井や壁ではリモコン信号の受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。この場合は、リモコンの位置を変えて操作するようにしてください。
- 2階以上にトイレを設置する場合、排水管内で大きな圧力変動が起こる危険性があるため、必ず通気管を立ち上げてください。

<ネオレストAH/RH手洗器付・電気温水器付タイプ>

- 陶器に熱湯を注がないでください。陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財をめらす財産損害発生のおそれがあります。
- 陶器に衝撃を与えないでください。陶器が破損してけがをしたり、水漏れのため家財をめらす原因になることがあります。
- 破損した陶器をそのまま使い続けたり、破面や破片に触らないでください。人がけがをする可能性や物的損害のおそれがあります。
- 便器には新聞紙、紙おむつ、生理用ナプキンなど、詰まりやすい物は流さないでください。鉛筆、ホルペン、くし、歯ブラシなどは内部でつかえるので、便器が詰まったり、汚水があふれ家財をめらす財産損害発生のおそれがあります。もし詰って便器内に落ちた場合は、拾い出してください。
- トイレットペーパーも一度に大量に使用すると詰まるおそれがあります。便器に一度に大量のトイレットペーパーを流さないでください。便器が詰まったり、汚水があふれ家財をめらす財産損害発生のおそれがあります。一度の洗浄で流せるトイレットペーパー(シングル)の量は大便器洗浄で約10m、小便器洗浄で約3mまでです。

取り扱いについて

- こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので結露水や小水が床にこぼれた場合はふき取ってください。また換気扇を回したり、窓を開けたりしてトイレの換気を行えば、結露を軽減することができます。
- 便器の排水路が詰まった場合は、そのまま水を流さないでください。便器から汚水があふれ家財に損害を与えるおそれがあります。詰まったときには、市販の詰まり除去用の器具(商品名:ラバーカップ洋式など)を使用して除去してください。除去できない場合は、お取り付けた店に修理を依頼してください。
- バリウムなどのように水に不溶で比重が大きいもの排出につきましては、一度の洗浄では流れきれない場合があります。あらかじめトイレットペーパーを敷いていただくか若干排出が良くなりますが、完全に流せない場合は、便器内に残ったバリウム及び汚物をトイレブラシなどで濯ぎと混合した後回数回洗浄してください。
- 便器の水たまり部を見て、封水が切れていないことをご確認ください。封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備機器が腐食し物的損害・傷害発生のおそれがあります。
- ネオレストAH/RH(手洗器付含む)・Dタイプ ヒーター付便器:水抜併用方式に関しては、別荘など長期使用しない場合、凍結予防のために必ず水抜きを行ってください。
- 便器の止水栓開度によっては、止水栓内の残水が凍結し、再通水に時間がかかることがあります。
- 凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行ってください。凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財をめらす財産損害発生の原因となります。
- 便器を使った後は必ず水を流してください。便器に尿石が発生し、便器の洗浄機能に悪影響を与え、水が溢れたり、悪臭が発生するおそれがあります。

<ネオレストAH/RH手洗器付>

- 手洗器の中に造花などの飾り物を置かないでください。止水不良の原因となります。また排水を阻害して手洗器から水があふれ家財に損害を与えるおそれがあります。
- 手洗器に、酸性、アルカリ性の洗剤や薬品類を流さないでください。手洗器排水管を傷め、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。また、手洗器表面を傷し、割れてけがの原因となります。
- カウンターに重いものを載せないでください。落下してけがのおそれがあります。